

日伯新開

奉祝天長節

本日は天長の佳節、吾が聖上陛下に於かせられては本日を以て第三十回目の御誕生を迎へさせられる。吾等陛下の赤子たるものは其の身の海内に在るご海外に在るごを問はずひこしく衷心より此佳き日を壽ぎまつる次第である。顧れば、聖上陛下登極の始めに於かせられ「吾國の國是は日に進むにあり、日に新たにするにあり」と宣はせられ、國民の當に嚮ふべきところを指示し給ふた。畏きこごながら、身海外に在る吾等によ殊にこの聖旨が有難く拜され

近代に於ける日本の世界的躍進。歐米の先進國と稱せられる國々と比肩しあるひは其壘を摩す目覺ましい此發展振りは、一に二千五百九十一年皇統連綿たる皇室の御威稜によるは素よりなるも、亦日に進み日に新たにしてふ畏き御精神を基調とした國民の奮闘努力の成果である。而も吾が皇室は依然として磐石の上にあり、近時喧傳される新思想も吾が國体に對しては微動だも與へることが出來ない。

吾等在外子臣たるものは今日の佳き日をお迎へして更に一段深く日本人たるのほこりを感じ、此國際的舞台に立つて遺憾なき活躍を期するご同時に吾等が子弟に對してもよく此傳統的精神を傳へ世界各國民の間に伍して恥からぬ訓練を與ふべき義務を痛感するのである。

此佳節に際し恭しく聖壽の無窮を禱り奉る。

今上陛下の御事

同年十一月三十一日陸海軍大佐御昇進、同十四年十二月六日照宮成子内親王御降誕。

サントス主

力一ザ東山

珈琲 コミサリオ

郵
函
九
二
號

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMISSARIOS
ua Cidade de Toledo,
ixa, 911-Tel. 2837-End. Tel. "Tozan" S

Rua Cidade de Toledo, 25
Caixa, 911-Tel. 2837-End. Tel. "Tozan" SANTOS

勅語

奉
祝

節長天祝奉

珈琲コミサリオ

力一ザ東山

ミヅカミ・イ・コム。ハニア

サントス市 シダーデ・デ・トレード街二五番地

モンテデステ・デ・カムビーナス農場
モンテデステ・デ・ビンダモニヤンガバ農場
バウリスタ線カムビーナス
郵幽 五九番
中央線ビンダモニヤンガバ 郵幽 一〇番

大阪商船株式會社

サン・トス出張所駐在員
酒寄守

奉祝天長節
正濱橫

リオ支店

橫濱正金銀行

目出度く協調を見た

珈琲生産者會議終る

二十%税を廢し半磅税新設
巴拉那州は植付出来る

聖州主催ミナス、リオ、パラナ及びスピリトサント四州
参加の珈琲生産州代表者會議は
二十日開會、二十四日迄五日間
バレスホタルに於て行はれ二十
四日最後の會議にて代表者の
署名を見た議定書は聯邦政府に
於ても之に全幅の贊意を表明し
加各州へ直ちに通達の上、昨
二十八日官報を以て一般に公表
されたのである。會議中は全く
秘密に付せられてゐたので會議
の梗概は何等窺知し得られなか
つたが仄聞する所に依ればバラ
ナ代表の提議せる所の
現在五千万本に達せざるバラ
ナ州は其數に達するまで植付
をなすことを得。
なる改正案は事なく可決された
ことは本會議に於ける注目すべ
き事件とされてゐる。巴拉那州
では近時めきめき發展せる北バ
ラナを扣えてゐるのでこれは最
上の成功である。北巴拉ナは現
在三千萬本の珈琲樹を育してゐ
るから新規開拓によれば尚今二
千万本の植付を爲しえべく同地
帶に五千万本アルカレスの土
地に對しては猶此上
ヨン會社の如きは此好機を逸せ
ず大宣傳をして其所有地の
開發に盡意氣である。と
尙二十四日サンパウロ珈琲局
オ支局の發表せる所に依れば
此次の珈琲會議の議決は出席
代表委員の意見の一一致せる結
果で其大體の希望を成るところ
は、生産者に對して一時的の安
定を圖る意味に於て此の方
の無論參らなかつた。此等の事實
は積り積つて諸證券の市價暴落
となり勞働界は何時も不安に脅
かされ遂に一八三七年カストロ
の租税の負担をなすより外何
生産物の市價調節に手を觸れ
ずして單に珈琲の自由取引の
實現を期すべく珈琲政策の安
定を期する爲に「珈琲生産州
會議」を設立、聯邦政府も之
に賛意を與へた。云々。

特に二十%輸出税に歸り往訪の
記者に語つたところに依れば

画する
Café Assembléa
JULIO MALFATTI
芭生産物の增加、國富の増進を
期する爲に交通並に運輸機關
の改良

記載

高岡專太郎

電話 七一四六八三

税
(Imposto) 紙幣發行(Emiss

税<br

ペルナンブコ州 製糖事業の一般

一番最初に工場を設けたのは、アヒューダ(Nostra Senhora da Ajuda)――今の フォルノ・デ・カナル――の所有地内に設備した。一説には之をイタマラカ島(Iata-maraçá)に設けたとも云ふ。マリオ・メロ氏は本問題に就いては最も研究した人であるが、同氏は「第十五世紀の末の方ローブスが未だ新大陸を発見する以前にボルトガル人は既にペルナンバーレに住んでゐた」と云ひ更に「若し此等のボルトガル人が製糖工場を設けてゐなかつたとすれば、これは正しくタバコ・リストヴォン・ジャッケスが輸入したものに相違なからう」と断じてゐる。

バナナ栽培は昨今サンバウロ海岸地帶に非常な勢を以て流行し出して來一般農家が青息吐息の際バナナ栽培者のみはどこを不景気風が吹くかといふ豪勢振り、定に羨ましい次第だが金に縛のないこちとらは何ともがいても鰐一文生み出す術を知らぬ。仕方がないからバナナ傳來記でも書いてせめてもの腹憲せとする――

ヨーロッパへはアメリカ發見後
にやうやく知られたといふバナナの原生地争ひが熱帶諸國の間に演ぜられたのはもう随分久しう前だ。博物學者ウンボルト(Humboldt)はバナナの原生地は新西班牙即ち今のアメリカにちがいないと云つてゐるが又同氏(Cortez)はコロンボ(Colombo)コルテ(Conquistador)大陸に於ける爲に、この有用植物はカナ
郡島中のアルメリア及びフランシスカーノ寺院で栽培せられ一五一年トマス・ベスター(Gaspar de Almeida)が植し、それよりアンチーリ(Antilles)に擴がり遅に新大陸に栽培せられるやうになつたのである。

其他大陸發見前後の人々の旅行記中に一言もバナナに言及してゐるのを見ないと確言してゐる。他方オースター(Oster)はカンドール(Candolle)によればバナナは或る時期(年代は考へられない)に於て支那、印度洋上の諸島等アジア大陸南部地方に多種類のもの生育する。それより太平洋上の諸島並に弗利加の東海岸に移植されたあるが其名前は多くアジアであるが其名前は多くアジアだ輸入作物中に編入してゐる。さうして彼は新大陸がバナナの原生地でないといふ特論を強調する

バナナの由來

ブラジルに於ける製糖業、殊に北伯地方に於けるそれは農産加工等の尤なるものとして或る州に於ては其生命をなしてゐる。此重要な工業は果して何時の如にして此國に傳はり如何なる経路を辿つて今日の盛衰を見るに至つたかにつき一應の研究を試みるは苟もブラジルの産業に關心を有つものにとつては決して徒事ではなからうと思ふ。

從來とも此種の研究をした筆者家は十指を屈する程あつたが、就中最も傾聽に値すると思はれるものにペレイラ・ダ・コスター、ジルベルト・フレイレ及びマリオ・メロの三氏があり、氏等は夫々一九〇五年、一九二五年、及び一九二九年に其研究の結果を發表してゐる。以下記述しやうとするブラジルの製糖業史も實は此等雰囲なペルナンブコ一人の研究を基礎として綴めたものである。

總督ドン・マノエルがアラジルに砂糖工場の設立を命じたとあるがそれが何處にどんな風にして建てられたか其後者として何等知り得る手蔓がないが、それはそれとして、兎も角もヅアルコテ・コエーリョ以前すでにベルナンブーク州第一の砂糖生産州ナントゥーロは砂糖の輸出地として名を知られてゐたのは最早である。何等疑ふの餘地はないが、一五三五年ヅアルテの工場設立してから製糖工業が殷盛に赴いたのも亦信じ得るところである。斯くて名を知られてゐたのは最早である。何等疑ふの餘地はないが、一五三五年ヅアルテの工場設立してから製糖工業が殷盛に赴いたのも亦信じ得るところである。斯くて名を知られてゐたのは最早である。

改良され、改良された時代においては、オランダ領時代における植民地時代のカントン栽培熱はとりわけ盛んであるものがあり、製糖事業と併せて進歩の跡著しいものがあつた。一六三七年から一六四四年にかけては、周知の通り、ブラジルは世界第一位の者産國であるが、一九二九年未農務省の調査により之を種類別にすれば、牛(Bovina)、馬(Equina)、羊(Ovinia)、山羊(Caprina)、驢馬(Asinina e Muar).

ブラジルの畜産

奉祝天長節

有限責任 ブラジル拓植組合

低資融通の途開かる!!!
一、入植の好期に本組合の一大英斷!!
二、今直ぐ入植の方には 資本金として邦貨
金五百圓を融通致します
尚詳細は左記へハガキで申込めば案内書を差上げます

天長節

FAZENDA INOMURA

Caixa, "NOMURA" Bandeirantes
S. Paulo-Paraná - Via Ourinhos - Norte Paraná

奉祝天長節

節長天祝奉

社會式株業興外海 店支國伯

Parque Anhangabaú, 18
C. Bento 3015

移植業部 民地植民アグアイヌマス農場ニユーニューヨーク

文藝

エンシヤーダを曳かね喰へ暑哉

舟人句集

二

俺は移民のエンシヤーダ曳き
一だが、理想や目的も多少持合
はさぬでもない。しかし誰にも
言ひはしない。嫁にだつて現ひ
はしない。何故なら理想と現實
とが「喰ひ違ふ」と世間態取りも直
さず大法螺吹きと見なされるか
らね。

俺は未だ土地すら買へない方
年コロノ——だがいかに景氣
が深刻化さうと、悲観を揚げは
しない。人間に産れて来たこと
を發悔もしない。専ら何彼も
はつきり凝視され人間味が沈々
味へることを喜ぶ——だから人間
の悲哀は地獄の底よりも深いよ
も、いくら働いても働いても喰
へぬ。いや働けば働く程喰へな
くなる社會層——組織網——ある
からとて、さう簡単にくたばり
はしない。まさか泥棒や人殺しに
宗旨替へも出来ない。これでも
娘もなりや餓鬼もる。干物に
なる花野菜の様にじつとして
泣かねば喰へぬ——黒奴はウルシ
よりも愈々黒い——暑さだ。
少しや人間らしい同情をも持
つがいい。——だから貧者の悲哀。
は底がしれないよ。

移民ごて莫迦にす

るなよ蜂雀

俺は移民のエンシヤーダ曳き
一だが、理想や目的も多少持合
はさぬでもない。しかし誰にも
言ひはしない。嫁にだつて現ひ
はしない。何故なら理想と現實
とが「喰ひ違ふ」と世間態取りも直
さず大法螺吹きと見なされるか
らね。

俺は未だ土地すら買へない方
年コロノ——だがいかに景氣
が深刻化さうと、悲観を揚げは
しない。人間に産れて来たこと
を發悔もしない。専ら何彼も
はつきり凝視され人間味が沈々
味へることを喜ぶ——だから人間
の悲哀は地獄の底よりも深いよ
も、いくら働いても働いても喰
へぬ。いや働けば働く程喰へな
くなる社會層——組織網——ある
からとて、さう簡単にくたばり
はしない。まさか泥棒や人殺しに
宗旨替へも出来ない。これでも
娘もなりや餓鬼もる。干物に
なる花野菜の様にじつとして
泣かねば喰へぬ——黒奴はウルシ
よりも愈々黒い——暑さだ。
少しや人間らしい同情をも持
つがいい。——だから貧者の悲哀。
は底がしれないよ。

答——それは御迷惑のやうな
事とお察し致します。若しあ
なたにはつきり療さうとする
御決心がおつきでしたら、暫
らく御旅行でもなすつたら如
何ですか。何にしても氣を強
く持つて、朝夕聖書の研究に
いそしまれがよいと思ひま
す。猶奥さんには御諒解を求
められません。却つて弟の方が背が高
いので私は兄として資格が無い
やうに思ひますが如何なので
せうか。親戚の叔父は私に氣を
落さないやうに云つて呉れます
が、小高い時から胃が悪くあり
ます。何にか良い薬を貰
はないでせうか。

答——それはお氣の毒ですが
別に背が低くても先に生れ
ります。その事をよく弟さん
にお話しておつて、諒解をな
されませんか。冒頭薬が一番良
いと思ひます。何にか良い薬を貰
はないでせうか。

答——私は子供の時左の目を通して
まつてなくなりました。去年結婚
をします時、醫者にすゝめられ
ました。私は大變身體が丈夫な男
ですが、小さい時から胃が悪くあり
ます。何にか良い薬を貰は
ないでせうか。

答——私は子供の時左の目を通して
まつてなくなりました。去年結婚
をします時、醫者にすゝめられ
ました。私は大變身體が丈夫な男
ですが、小さい時から胃が悪くあり
ます。何にか良い薬を貰は
ないでせうか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はある。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戰國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——俺はもう後五年もやりや
さか白髪が頭を覆ふぜ。極めて先
きは短い。左様、早くたばづる
に方が便しかも知れないが、さ
うも参らぬしない。

答——背丈ほどのマモンの木蔭で、

エンシヤーダに腰をおろしての

中年面の一新移民である。

答——それがからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難
題はないでせうか。

答——私は植民地内でも聲が良
い方なので毎晩からたちの花を
とつたら、いい船にて何んで
こんな戦國時代の原始林の山奥
として來たものだぜ。——でなか
れ、喰へなくなつたばかりに、
いかになつたらきっと落着きに
けになつたらきっと落着きに

放していらしめたんでは奥さ
ぬ顔でもなかつたが、たゞどら
すいたばかりに、不運なばかり
に、喰へなくなつたばかりに、

こんな戦國時代の原始林の山奥

などへ遁世するものか。

答——それはからかはれた
でせう。あまり深山登ると身
體をこしまします。若しなマヌケ
ジがあがれるやうでしたら難

日伯歌壇

岩波菊治選

正治郎

刈邊れし陸稻の穗向亂れつゝ降

りつぐ雨に莖朽ちゆかむ

十字星昇らむ頃か秋づきて虫の

聲に親しみまさる

乏しさをかこちし井戸の水かさ

は日毎増しつゝ秋は來にけり

眼に沁むる今宵の月よ遠づべの

牧にうそぶく牛の聲従る

ひたぶるに吾をたのみで故里に

いそしむ妹に便りを書かむ

世の中に大き矛盾を感じつゝ生

きむと願ふ心の根強さ

○ 勅題

あかときの降りつむ雪にひさま

づきおうがみまつる産土の神

あめつちの界の雲を別き昇る初

の朝日子うちかに照る

街燈の光は淡く夜けし夜の町の

屋並を照らす静けさ

健かに育つ男の子の孫孫けば是

身構ゆ先づぞ跋らんと

働きは力の極み勤むとも安き日

うから手紙五十日かゝりぬ

日本は沙の八百倍の遠ければ

よしと思ひし歌人の歌した

上よりみてやはらかに見ゆ

ながかる道にあれや來む年

も旅に迎ふと友の宣らせる

おはねなくみ民我が身も新年の

おはねなくみ民居まで

吾は祖父と別れ來ぬるを

ゆとりある心となりてゆか

に木の葉たゞける雨の音きく

稲刈らん時しなきまで降りつづ

へ雨に籠りて読みあさりぞり

建ちかけし宿漸く壁塗りて乾

くを待たん益來る間を

泥葱を貰ひ歸りて此頃の野菜乏

しき厨脳はす

飾るべき雑誌に食ましよりり

裏腹風のなまじ残りて

り辭つき明日や雨なる

も故國に文を綴りけるかも

ゆめたか

ねの夢驚かすいかづちの音

寂しさをきぎらはさんと又して

と

と諷流れをり谷に向ひて

明方の諷たちこめし丘の上に少

し虧けたる月入らんとす

年々に村の役目にたづさはり暇

もなく通ぎゆく我か

下りたらし朝明の庭はしろじろ

植並はくきやかに見ゆ

疲れ心ありとにあらね晝の飯食

して暫く眠る辭づきの

當館へお泊りの方々にはカフェー

ランチア牌往復目

動車を無料にて送迎致します、猶貸、客自動車共臺

夜を問はず御用命に應じます

○ 今井白鷗

仙人掌の白き花咲く夕暮れ故

國の雪の偲ばるゝかな

文秀

木の花梢に搖れて牧場の青草

の上に日影うすれぬ

向つ丘の大樹の梢のさわめきて

早やも來にけり激しき雷雨

俄雨トタンの屋根にさわめきて

降り注ぐ夜を書よみてあり

かすかなる音して燃ゆるカンテ

俄の光ともしき吾が部屋のうち

勝次

○

いたむ眼を力一杯見はれども

視力をためす私は寂しき

幾夜もまた腰丈に見えず

齊場に射し入る冬の陽のいく

花輪の下に香たちのぼる

○

大田南景

照りつづくこの砂原に青々と西

瓜の蔓は伸び掩ひけり

青々とはや腰丈に繁りたる稻葉

そよぎて夕風わたる

村雨の止みたる午後や久々に道

掩ふ草の刈りとられる

○

登美子

日並べて雨降り止まず取入の遅

○

大田南景

日並べて雨降り止まず取入の遅

○

登美子

日並べて雨降り止まず取入の遅

○

大田南景

今・初秋の昂奮

陸上争覇の日

榮光の優勝旗を加へて

日東健兒の心いや躍る



二百の勇者がその覇
を争ふ全伯國陸上競
技大會の當日は來た
君の波打ましい他の
精進によつて、榮光
端を盛りて出場選手諸君
を待ちあぐんやる。午前八時
日本人會の天長節祝賀式開催
一同入場

君代合唱
遙拜之儀
祝辭 領事川西全伯國
國旗掲揚
祝辭 蜂谷專一氏
閉会之辭

小學校新築
十三家族

不景氣が子供の成
り下るは猶つらいと
一九二一年以來入植し主として
棉作に從事して來たドラデンセ
線ターナンガ隸金光植民地では
現在日本人は十三家族に過ぎない
が其子弟が學業に達しても學明るい光景の一

校なく見す「カボクヨに成り

下つて行くのを苦に成り育英學

利をクルア・パウリススターによ

り買受け、食其他を用意して

開設立の議のおきてからも随分

久しいが棉作界不振の折柄恒

久しくて來たところ此度愈

々意を決し全く十三家族丈けで

金と労力を寄附して目下校舎新

築中、落成の上は州政府の公認

を得る計畫で生徒は外人子弟を

極みかき波瀾をふくむ在ラジ

ル日本人同仁會の定期總會も明

日に追つた。中傷、揶揄、正論

の交錯に殆んどその纏てを述べ

くされ聊か倦怠氣分になつ

た現在、總會出席者の寡數を見

り下るは猶つらいと

廣井、熊谷、高橋の諸氏だが、三

どなんに不景氣でも子供を力が

克ロにはされないと日本人の親

戚に於ては十三家庭に過ぎない

が其子弟が學業に達しても學明るい光景の一

の餘儀なきに至つた。即ち

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

Ano XVII

São Paulo — Quarta-feira, 29 de Abril de 1931

Num. 726

DO JAPÃO

(Das Nossas Succursaes)

O arrojo de uma jovem japoneza

A senhorita Miyoko Miyamori, jovem japoneza de 18 anos acaba de dar uma prova de audacia e arrojo saltando com «para-quedas» de um aeroplano da altura de 500 metros.

Essa façanha foi presenciada por mais de cinco mil pessoas no aeroporto civil Ito, na pequena praia de Tadanuma.

Depois do exito, entrevistada pelos reporteres dos jornais, o «jornal», disse: — Eu não tirei reto algum em saltar, porque preparei com cuidado o meu para-quedas; viajei para o solo com calma e sem medo!

A filha de Tolstoi encontra-se no Japão

A senhorita Alexandra Tolstoi, filha do famoso escritor e filósofo russo, não sendo uma bolchevista declarada, não conseguiu passaporte do governo soviético e, de acordo com as leis imigratórias severas do governo canadense, não pôde desembarcar nesse país, definitivamente. A senhorita Tolstoi encontra-se actualmente no Japão, pretendendo ir à Colúmbia Britânica, onde vai editar um jornal dedicado à seita russa dos «Doukhobors», que segue o culto do nô.

DR. S. TAKAOKA

MEDICO-OPERADOR

Rua Fagundes, 8

Tel. 7-4683

S. PAULO

NIPPAK SHIMBUN

Director - Gerente:
ALFREDO TAKEUCHI

Redactor da pagina brasileira José Soé

Redacção, Administração e Oficinas
Rua da Liberdade, 146

Caixa Postal, 375

Telephone, 2-3926

Endereço Telegráfico "NIPPAK"

SÃO PAULO - BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil:

Por anno 50\$000

Por semestre 16\$000

Número avulso 5\$00

Para o Exterior:

Por anno 60\$000

ANNÚCIOS

Temos à disposição dos interessados

uma tabela completa de preços para an-

úncios resfriados. Telephone 2-3926

O Japão reconheceu a nova República Hespanhola

O governo imperial do Japão enviou um embaixador especial para Madrid, autorizado a apresentar as suas credenciais ao governo provisório e reconhecer a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-

sentar as suas credenciais ao

governo provisório e reconhecer

a República Hespanhola.

O governo imperial do Japão

enviou um embaixador especial

para Madrid, autorizado a apre-